



徳島県用 令和7年度(2025年度)

消防設備士試験 試験案内

一般財団法人 消防試験研究センター徳島県支部

徳島県マスコット「すだちくん」
承認番号：県民第24-92号

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします

消防法(昭和23年法律第186号)第17条の9第1項の規定により徳島県知事から委任された
消防設備士試験を次のとおり実施します。

電子申請が便利になりました

- （一財）消防試験研究センターのホームページから申請できます。
- すべての種類でインターネットから申請できるようになりました。
- 受付期間は、各試験ごとに異なります。それぞれの日程を十分ご確認の上、
ご利用ください。
- 受験票はダウンロードし、印刷して作成してください。
- 団体で10名以上電子申請により継続して申請を行う場合は、事前に支部に
ご連絡ください。



消防試験研究センター

（一財）消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/denshi>)に詳細な利用方法や
Q&Aが掲載されていますので、ご確認の上お申し込みください。
電子申請の問合せ先は、「18.問合せ先(2)電子申請に関すること(11ページ)」をご覧ください。

1. 試験日・願書受付期間等

受験願書の申請方法は、書面申請(願書による受験申請)と電子申請(インターネットからの受験申請)
の2通りがあります。具体的な受験手続は、「9. 受験手続(6ページ)」をご覧ください。

	試験日	試験種類 試験開始時間	受付期間 (消印有効)	試験会場
第1回	5月24日(土)	13:00開始 甲種(特類) 甲種 (第1~5類) 乙種 (第1~7類)	4月2日~4月9日	あわぎんホール
第2回	10月11日(土)		9月2日~9月9日	※ 詳細は9ページ

(注) 試験開始の30分前までに集合してください(試験注意事項等の説明を行います)

- 試験会場の収容人員等の関係で、試験会場及び試験時間等を変更する場合が
ありますので、必ず受験票で確認してください
- 受験者用の駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください
- 試験会場への問合せはしないでください**(会場施設は、試験とは無関係です)



徳島県マスコット「すだちくん」
承認番号：県民第24-92号

2. 受験申請 [願書郵送の際は、26ページの 願書送付用宛名ラベル をご利用ください]

(1) 書面申請による願書受付場所及び受付時間は26ページをご覧ください。

(2) 電子申請

(一財)消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)から申請してください。
受付時間は、開始日の午前9時から締切日の午後11時59分までの間、24時間受け付けます。
試験日前に各自で受験票をダウンロードし、印刷する必要がありますのでご注意ください。

3. 受験願書等の配布場所

「消防設備士試験案内」、「受験願書」及び「払込取扱票(郵便局(ゆうちょ銀行)窓口用払込用紙)」の計3点を、次の場所で受け取ってください。

各消防本部、消防非常備町村は各町村役場(勝浦町、上勝町、佐那河内村)
徳島県消防保安課、(一財)消防試験研究センター徳島県支部

4. 試験種類及び受験資格について

(1) 甲種 一定の受験資格が必要です

12~14ページに掲載の別記1「甲種消防設備士試験の受験資格」を参照

(2) 乙種 受験資格は必要ありません

5. 免状の種類と工事整備対象設備等

消防設備士免状には甲種と乙種があります。

甲種……工事整備対象設備等の整備、点検及び工事ができる。

乙種……工事整備対象設備等の整備及び点検ができる。

各「類」ごとに、取扱える設備が限定されています。工事や整備を行いたい設備に対応した免状の種類を確認して、受験してください。



免状の種類		工事整備対象設備等の種類
甲種	特類	特殊消防用設備等(従来の消防用設備等に代わり、総務大臣が当該消防用設備等と同等以上の性能があると認定した設備等)
	第1類	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、屋外消火栓設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備
	第2類	泡消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備
	第3類	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備
	第4類	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備
乙種	第5類	金属製避難はしご、救助袋、緩降機
	第1類	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、屋外消火栓設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備
	第2類	泡消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備
	第3類	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備
	第4類	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備
	第5類	金属製避難はしご、救助袋、緩降機
	第6類	消火器
	第7類	漏電火災警報器

6. 試験の方法、試験科目、問題数及び試験時間

- (1) 筆記試験 …… 下記の試験科目について、甲種、乙種とも四肢択一です。
- (2) 実技試験 …… 鑑別等、製図とも写真、イラスト、図面などによる記述式です。
- ※ 筆記試験と実技試験は、同時にを行い、試験時間を区分しません。



種 別		試験 科 目		類 别 問 題 数							試験 時 間	
				1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	区別	計
甲種 (特 類 以 外)	筆 記	消防関係法令	共通	8	8	8	8	8			2時間15分	3時間15分
			類別	7	7	7	7	7				
		基礎的知識	機械	6	6	6	—	10				
			電気	4	4	4	10	—				
		構造・機能 及び工事・ 整備の方法	機械	10	10	10	—	12				
			電気	6	6	6	12	—				
			規格	4	4	4	8	8				
	実 技	計		45	45	45	45	45				
		鑑別等		5							15分	
	製図		2								45分	
種 別		試験 科 目		類 别 問 題 数							試験 時 間	
				1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	区別	計
乙種	筆 記	消防関係法令	共通	6	6	6	6	6	6	6	1時間30分	1時間45分
			類別	4	4	4	4	4	4	4		
		基礎的知識	機械	3	3	3	—	5	5	—		
			電気	2	2	2	5	—	—	5		
		構造・機能 及び 整備の方法	機械	8	8	8	—	9	9	—		
			電気	4	4	4	9	—	—	9		
			規格	3	3	3	6	6	6	6		
	実 技	計		30	30	30	30	30	30	30		
		鑑別等		5							15分	

※表中の略称

- 基礎的知識……………機械又は電気にに関する基礎的知識
構造・機能及び工事・整備の方法…………消防用設備等の構造・機能及び工事又は整備の方法
構造・機能及び整備の方法…………消防用設備等の構造・機能及び整備の方法

種 別		試 験 科 目							問題数	試験時間
甲種特類	筆 記	消防関係法令							15	2時間45分
		工事整備対象設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法							15	
		工事整備対象設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識							15	
		計							45	

7. 試験科目の一部免除(甲種特類を除く)

試験種類	既に所持する消防設備士免状等	免除する問題数					試験時間
		①法令	②基礎	③構造	④鑑別等	計	
甲種(特類以外)	甲4・5免状	8	—	—	—	8	3:00
	甲1~3免状	8	10	—	—	18	2:30
	電工又は電主	—	4	6	—	10	3:00
	甲4・5免状+電工又は電主	8	4	6	—	18	2:30
	甲1~3免状+電工又は電主	8	10	6	—	24	2:30
	甲(全)免状	8	—	—	—	8	3:00
	電工	—	10	12	1	23	2:30
	電主	—	10	12	—	22	2:30
	甲(全)免状+電工	8	10	12	1	31	1:45
	甲(全)免状+電主	8	10	12	—	30	1:45
乙種	甲(全)免状(電工又は電主の有無に関わらず)	8	—	—	—	8	3:00
	甲1・4・5免状、乙4~7免状	6	—	—	—	6	1:30
	甲2・3免状、乙2・3免状	6	5	—	—	11	1:15
	電工又は電主	—	2	4	—	6	1:30
	甲1・4・5免状、乙4~7免状+電工又は電主	6	2	4	—	12	1:15
	甲2・3免状、乙2・3免状+電工又は電主	6	5	4	—	15	1:00
	甲2・4・5免状、乙4~7免状	6	—	—	—	6	1:30
	甲1・3免状、乙1・3免状	6	5	—	—	11	1:15
	電工又は電主	—	2	4	—	6	1:30
	甲2・4・5免状、乙4~7免状+電工又は電主	6	2	4	—	12	1:15
	甲1・3免状、乙1・3免状+電工又は電主	6	5	4	—	15	1:00
	甲3~5免状、乙4~7免状	6	—	—	—	6	1:30
	甲1・2免状、乙1・2免状	6	5	—	—	11	1:15
	電工又は電主	—	2	4	—	6	1:30
	甲3~5免状、乙4~7免状+電工又は電主	6	2	4	—	12	1:15
	甲1・2免状、乙1・2免状+電工又は電主	6	5	4	—	15	1:00
	甲(全)免状、乙1~3・5・6免状	6	—	—	—	6	1:30
	乙7免状	6	5	—	—	11	1:15
	電工	—	5	9	1	15	1:00
	電主	—	5	9	—	14	1:15
	甲(全)免状、乙1~3・5~7免状+電工	6	5	9	1	21	0:45
	甲(全)免状、乙1~3・5~7免状+電主	6	5	9	—	20	0:45
複数	甲(全)免状、乙1~4・7免状	6	—	—	—	6	1:30
	乙6免状(電工又は電主の有無に関わらず)	6	5	—	—	11	1:15
	特定の消防団員	—	5	—	5	10	1:15
	甲1~4免状、乙1~4・7免状	6	—	—	—	6	1:30
	甲5・乙5免状(電工又は電主の有無に関わらず)	6	5	—	—	11	1:15
	特定の消防団員	—	5	—	5	10	1:15
	甲1~3・5免状、乙1~3・5・6免状	6	—	—	—	6	1:30
	甲4免状、乙4免状	6	5	—	—	11	1:15
	電工	—	5	9	5	19	1:00
	電主	—	5	9	—	14	1:15
甲種4類 と 乙種7類	甲(全)免状、乙1~6免状+電工	6	5	9	5	25	0:35
	甲(全)免状、乙1~6免状+電主	6	5	9	—	20	0:45
	電工	—	5	9	5	19	1:00
	電主	—	5	9	—	14	1:15
	甲(全)免状+電工又は 乙1~3・5・6免状+電工	6	5	9	5	25	0:35
乙種4類 と 乙種7類	電工	—	5	9	5	19	1:00
	甲(全)免状+電工又は 乙1~3・5・6免状+電工	6	5	9	—	20	0:45

複数受験者の免除問題数は試験種類ごとに上記と同じ。試験時間は、乙種7類の法令科目問題が他の類と一部共通であること等のため、各試験時間の合計時間とは異なる。

3:15
2:30
3:15
1:45
1:30

左ページの一覧表のとおり、消防設備士、電気工事士、電気主任技術者、技術士等、資格を有する方は、申請により試験の一部が免除になります。受験願書の試験免除欄の「受ける」か「受けない」のいずれかに必ず○を記入してください。免除を希望する場合、その資格を証明する免状の写しを願書B面裏に貼付してください。

なお、2つ以上の資格がある方は、それぞれ資格ごとの免除申請ができます。

(1)書面申請の場合

- ア 消防設備士免状所持者は、免状の写し(表・裏両面)を願書B面裏「既得消防設備士免状(コピー)貼付欄」に貼付し、願書A面「試験の免除」該当欄の「受ける」・「受けない」を選択。
- イ 電気工事士、電気主任技術者、技術士等の資格がある方は、免状の写し等の証明書類を願書B面裏「各種証明書貼付欄」に貼付し、願書A面「試験の免除」該当欄の「受ける」・「受けない」を選択。

(2)電子申請の場合

- ア 消防設備士免状所持(他の証明書類を要しない場合に限る。)に伴う所定の一部免除は、電子申請の際に、既得「免状情報」を入力することにより自動的に判別されます。この場合、別途、免状の写しの送付等の必要はありません。
- イ 再受験の場合、前回と同じ条件で電子申請できます。

注1 甲種特類には、試験の一部免除はありません。

注2 表中の略称

- 「甲(全)免状」……………甲種1類～5類のいずれかの消防設備士免状所持者
- 「・」「～」……………記号の前後等に示されたいずれかの消防設備士免状所持者
- 「電工」……………電気工事士免状所持者(別記1「甲種特類以外」の7該当者)
- 「電主」……………電気主任技術者免状所持者(別記1「甲種特類以外」の8該当者)

注3 「①法令」の免除対象は、「消防関係法令の共通部分」です。また、「②基礎」の免除問題数のうち甲種の10問及び乙種の5問は、「基礎的知識」の全問題数です。

注4 電工・電主の一部免除は、3ページ「筆記試験」の「基礎的知識」と「構造・機能及び工事・整備の方法」の各科目中における電気にに関する部分であり、さらに、電工は、3ページ「実技試験」において、甲種・乙種の第4類を受験する場合は「鑑別等」の1問が、乙種第7類を受験する場合は全問が、それぞれ免除になります。

注5 技術士第2次試験に合格した方、又は技術士登録証所持者の科目免除

次表に掲げる技術の部門に応じて、試験の指定区分の類について、3ページ「筆記試験」のうち、「基礎的知識」と「構造・機能及び工事・整備の方法」の科目が免除になります。

※ 下記以外の専門分野には、試験の一部免除はありませんが、甲種の受験資格はあります。

部 門	試験の指定区分
機械部門	第1, 2, 3, 5, 6類
化学部門	第2, 3類
電気・電子部門	第4, 7類
衛生工学部門	第1類

注6 日本消防検定協会又は登録検定機関の職員で、型式承認の試験実施業務に2年以上従事した方(甲種消防設備士試験の受験資格は別に必要です。)で、「型式承認の試験実施業務の証明書」が提出できる方です。

3ページ「筆記試験」の「基礎的知識」と「構造・機能及び工事・整備の方法」が免除になります。

注7 特定の消防団員とは、5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち専科教育の機関科を修了した方で、「消防団員歴の証明書」及び「消防学校の教育(機関科)修了証のコピー」が提出できる方です。乙種第5類、第6類において、3ページ「筆記試験」の「基礎的知識」全問が、「実技試験」の全問が、それぞれ免除されます。

8. 複数受験

2種類の試験を同時に受験すること

- (1) 組合せ……………「甲種第4類と乙種第7類」又は「乙種第4類と乙種第7類」のみ
- (2) 対象者……………「電気工事士」の免状を持ち、試験の一部免除を受ける方

※受験願書は、試験の種類ごとに作成した上、一括で提出してください。

9. 受験手続

試験手数料(非課税) ※払込みには所定の手数料が必要です。

※一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

甲種	乙種
6,600円	4,400円

(1) 書面申請

次の書類を整備、提出してください。(郵送の場合は、締切日までの消印有効です。)

ア 受験願書 ……記入要領は20ページ別記2を参照

イ 甲種受験者は、受験資格を証明する書類。(12~14ページ「別記1」中の特類以外の「甲種消防設備士試験の受験資格」の証明書類欄を参照。)

※ なお、過去に甲種の試験を受験したときの受験票若しくは受験票(控)又は試験結果通知書(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。コピー可。)を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。ただし、「工事補助5年」の受験資格の場合は、添付する過去の受験票等と同じ指定区分を受験する場合に限ります。

ウ 試験の一部免除を受ける場合は、その資格を証明する書類。(21ページ「別記2」中の「試験の一部免除を受けるための資格証明書類」を参照。)

エ 既に消防設備士免状の交付を受けている方は、その免状のコピーを受験願書のB面裏に貼り付けてください。(免状の表と裏の両方をコピーして貼り付けてください。)

オ 試験手数料の払込み(払込用紙若しくは2次元コード経由)

<◎払込用紙で払込みの場合>

「振替払込受付証明書(お客さま用)」※金額訂正無効

ATMは不可



① 受験願書と一緒に受領した専用の「払込取扱票(郵便局(ゆうちょ銀行)窓口用払込用紙)」を使用し、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。その際必ず「振替払込受付証明書(お客さま用)」に受付局日附印の押印を受けてください。

② 「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書B面の「◎払込用紙で払込みの場合」の破線枠内にのり付けしてください。(金額を訂正したもの、日附印のないもの、及び本人用の「振替払込請求書兼受領証」は無効です。)

複数種類を受験される方や、学校、会社等の団体で2人以上の受験者がいる場合は、一括して合計金額を払い込むことができます。団体の場合、「振替払込受付証明書(お客様用)」の依頼人氏名欄に、団体名と受験申請者の内の1人の氏名を記入し、記入した方の受験願書B面の試験手数料欄に貼ってください。全ての受験願書は、一括で提出してください。(一括して払った場合は、提出する最初の願書 B 面に「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼ってください。)

「振替払込受付証明書(お客さま用)」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書(お客さま用)」を発見したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返します。

<◎2次元コード経由で払込みの場合> ※令和7年3月末日までは利用できません
「決済完了番号(18桁)」

- ① 払込み方法は、電子申請の払込み方法と同じ。
- ② 受験願書B面の2次元コードをスマートフォン等で読み取り、画面の案内に沿って進めてください。
- ③ 決済完了後、決済完了メールに記載されている決済完了番号(18桁)を受験願書B面の決済完了番号記入欄に記入してください。

※ 願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっています。決済をやり直す場合は、新たに願書を入手し、再度手続きを行ってください。

(2) 電子申請

電子申請を利用する方は、手続きの際に必ず(一財)消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/denshi/>)の説明をご覧ください。

<電子申請の払込み方法>

次の決済方法から選択できます。なお、払込みには、所定の払込み手数料が必要です。

- ① ペイジー(Pay-easy)決済※情報リンク方式、オンライン方式
- ② コンビニエンスストア決済

(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキの一部店舗)

- ③ クレジットカード決済(VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース)
- ④ スマホ決済(PayPay、メルペイ)

※ (一財)消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、三井住友カード株式会社に業務委託しています。

10. 受験票及び写真について

受験票は概ね試験日10日前までに送付します。試験日には、受験する全種類の「本人の写真を貼って氏名を記入した受験票」を、必ず持参してください。

(1) 受験票の送付方法

ア 書面申請の場合
圧着はがきで郵送します。

イ 電子申請の場合
申請時に入力された電子メールアドレスあてに受験票がダウンロードできる旨のメールを当センターから送信します。受験票をダウンロードしてA4サイズ普通紙に印刷してください。複数受験は受験する全種類のダウンロード及び印刷が必要です。

ウ 受験票(はがき又は電子メール)が届かない場合試験日前日(土日、祝日を除いた、平日の受付時間)までに当支部に問い合わせてください。

(2) 受験票に貼る写真について(書面申請、電子申請共通)

受験日前6か月以内に撮影した正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像の縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさ、枠無しとし、鮮明なもの(裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。)を準備して、受験票に貼ってください。

写真は受験者本人の確認及び消防設備士免状作成に使用しますので、正しいサイズの写真を受験票にしっかりとのり付けし(セロハンテープは不可。)、試験当日必ず持参してください。

デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

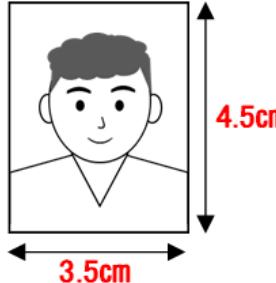
(3) 受験票の氏名欄は、受験者の氏名を楷(かい)書で記入してください。

(4) 複数受験の場合、受験票ごとに写真の貼付が必要です。

【受験票に貼付する写真の注意点と受験票イメージ】

- ・背景と頭髪や衣服の色が同色でなく、背景と人物の境目がはっきりしていること
- ・平常の顔貌と著しく異なるもの（口を開き歯が必要以上に見えているものは不可）
- ・前髪などにより、目などの顔の器官や輪郭が隠れていないこと（ヘアバンドも不可）

良い写真の例



試験当日、会場案内図で試験室を確認してください

写真不可の例



書面申請者用受験票イメージ(圧着はがきを開いたもの)

消防設備士試験 受験票（控）			消防設備士試験 受験票		
受験番号	01-0001	試験の種類	甲種第4類	写真	縦4.5cm×横3.5cm 写真の範囲に黒縁・年齢 及び性別を記載 6ヶ月以内に撮影したもの (正直、無理、無背景の 上三分身像又はパスポート 用写真) しっかりとり付けしてく ださい。(セロハンテープ 不可)
カナ氏名	ショウゴウ タケル			受験番号	01-0001
氏名	消防 太郎		試験の種類	甲種第4類	
試験日時	令和×年×月×日 [1/1] ×時×分集合 ×時×分試験開始		カナ氏名	ショウゴウ タケル	
試験会場	○○ホール 徳島市○○町○丁目○○番地 (J R 徳島駅より徒歩○○分)		受験者氏名	「かい書」で記入してください。	
(試験室)	会議室 ××		氏名	氏名を記入する	
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	05	試験日時	令和×年×月×日 [1/1]
既得免状			×時×分集合 ×時×分試験開始	試験会場	○○ホール 徳島市○○町○丁目○○番地 (J R 徳島駅より徒歩○○分)
注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。 受験票裏面の注意事項をお読みください。					
受験の際は、試験会場をご確認ください。 次の場合は受験することができません。 1 受験票がない場合 2 受験票に写真を貼っていない場合 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合 この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申込みに必要ですので、大切に保管してください。					
12345678912340100001 □□□ 000-00-0000 00000 試験当日、この受験票は回収します。					

電子申請者用受験票イメージ(A4用紙に印刷したもの)

消防設備士試験 受験票					
注意事項					
1 次の場合は受験することができません。 (1) 受験票がない場合 (2) 受験票に写真を貼っていない場合 (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合					
2 受験票に記載している場合時間までに入室してください。 3 受験票、鉛筆（白又は黒）、消しゴムを持参してください。 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退出を命じ、失格とします。 6 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いするところがあります。 7 電話による問合せの問い合わせには、応じられません。 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。 9 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する熱帯雲報等の災害情報に対応して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の時間前までに掲示します。 10 指定された場所以外では受験できません。 11 会場には、車を使用しないでください、公共交通機関をご利用ください。					
（一財）消防試験研究センター 徳島県支部 〒 770-0943 Tel 088-652-1199 徳島市昭和町1-3山一興業ビル4階					
受験番号			01-0001	試験の種類	甲種第4類
カナ氏名			ショウゴウ タケル		
氏名			受験者氏名を「かい書」で記入してください。		
試験日時	令和×年×月×日 [1/1] ×時×分集合 ×時×分試験開始		氏名	氏名を記入する	
試験会場	○○ホール 徳島市○○町○丁目○○番地 (J R 徳島駅より徒歩○○分)		(試験室)	会議室 ××	
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00	12345678912340100001 □□□ 000-00-0000 00000 試験当日、この受験票は回収します。	
既得免状			切り取ってください		

消防設備士試験 受験票（控）			
受験番号	01-0001	試験の種類	甲種第4類
カナ氏名	ショウゴウ タケル		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和×年×月×日 [1/1] ×時×分集合 ×時×分試験開始		
試験会場	○○ホール 徳島市○○町○丁目○○番地 (J R 徳島駅より徒歩○○分)		
(試験室)	会議室 ××		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			
受験者現住所	徳島県○○市○○町○○字○○ △一△ ○○○○○ハイツ×××号室		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。
受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申込みに必要ですので、大切に保管してください。

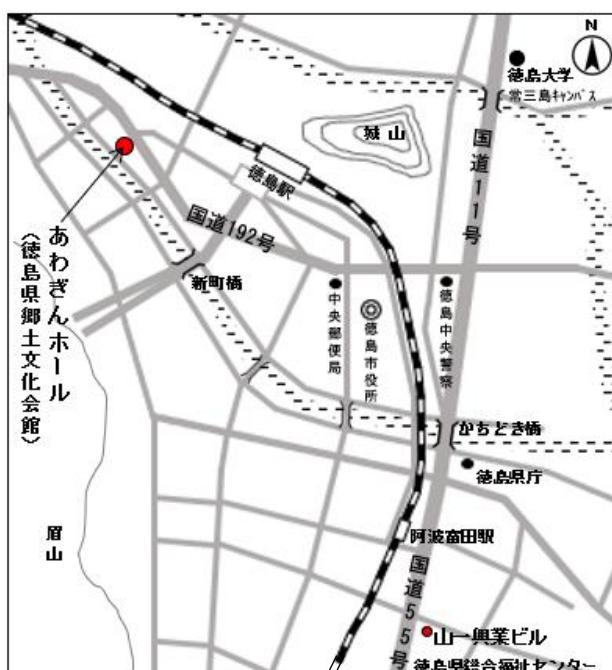
11. 試験当日の注意事項

- (1) 受験票を持参しないと受験できません。
- (2) 受験票に、7ページ「10」に示した写真を貼付していない場合、又は貼付した写真が不鮮明な場合には、受験できません。(写真の貼付位置は写真枠部分です。)
- (3) 試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。
また、問題集の一部を切り取ったり、カメラ等で撮影することもできません。このような行為をした場合、試験は失格となりますので注意してください。
- (4) 試験会場で、注意を守らない、係員の指示に従わない等、他の受験者に迷惑を及ぼす恐れがある場合には、退場を命じ、失格とすることがあります。
- (5) カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。
- (6) 試験室内は撮影禁止です。
- (7) 試験当日の連絡先:088-652-1199 午前11時~午後4時30分(欠席の連絡は不要。)

12. その他の注意事項

- (1) 試験会場及び試験時間等を変更する場合がありますので、必ず受験票で確認してください。
- (2) 試験当日は、写真を貼った受験票、HB又はBの鉛筆と消しゴムを必ず持参してください。受験票(控)は合格発表等に必要ですので、大切に保管してください。
- (3) テンプレート等の定規類、電卓、腕時計型端末等は、一切使用できません。
携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。(これらの電子機器類を時計として使用することはできません。)
- (4) 当センターへ一旦提出し、受理された受験申請書類は一切お返しできません。
- (5) 試験開始30分前に集合し、試験に当たっての注意事項の説明を受けてください。
- (6) 試験会場に受験者用駐車場はありませんので公共交通機関でご来場ください。
- (7) 身体の障害等により受験に際して必要な配慮(車椅子、補聴器等の使用など)を希望される場合は、受験申請をする前にご相談ください。(内容によっては、ご希望に沿えない場合があります。)
- (8) 事故等により、会場や日程を変更する場合には、徳島県支部からの緊急情報として(一財)消防試験研究センターホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報により試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

13. 試験会場案内図



あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

〒770-0835
徳島県徳島市藍場町2丁目14

(JR徳島駅より徒歩10分)

***試験会場への問合せはしないでください
*受験者用駐車場の用意はありません**

14. 合格基準

(1) 甲種特類

筆記試験において、「消防関係法令」、「工事整備対象設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法」、「工事整備対象設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識」の各科目ごとに40%以上で全体の出題数の60%以上の成績を修めた方を合格とします。実技試験はありません。

(2) 甲種(特類以外)及び乙種

「消防関係法令」、「機械又は電気に関する基礎的知識」、「消防用設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法」の各科目ごとに40%以上で全体の出題数の60%以上、かつ、実技試験において60%以上の成績を修めた方を合格とします。

なお、試験の一部免除がある場合は、免除を受けた以外の問題で上記の成績を修めた方を合格とします。

実技試験の採点は、消防法施行規則第33条の9の規定により、筆記試験が合格基準に達した方を対象としています。

15. 合格発表

(1) 合格発表予定日

合格発表予定日は、災害その他の事情により変わることがありますので、試験日当日の案内や、当センターホームページでのお知らせをご確認ください。

試験回	試験日	合格発表予定日
第1回	5月 24日 (土)	6月 25日 (水) 消
第2回	10月 11日 (土)	11月 14日 (金) 消

(2) 発表方法

発表日に合格者の受験番号を、徳島県支部入口に公示するとともに、正午より当センターのホームページ上に掲示します。また、受験者全員に結果通知書を郵送します。

なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

(3) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは、一切関係ありませんのでご注意ください。

16. 免状交付申請の手続き及び免状の交付

(1) 試験に合格した方は、次の書類を郵送して免状の交付申請をしてください。

ア 消防設備士免状交付申請書(試験結果通知書)は、切り離さないで、申請日、申請者名(合格者本人)、電話番号(日中連絡先)を記入してください。

イ 申請手数料2,900円(徳島県収入証紙)

※ 徳島県収入証紙は、阿波銀行、徳島大正銀行の本・支店で販売しています。

※ 一度に複数種類の申請をする場合でも、免状交付申請書それぞれ一件ごとに2,900円分です。

ウ 免状返送用封筒(定形封筒:長さ14~23.5cm、幅9~12cm)表面に自分の宛先を、裏面下に受験番号を記入して、最新の簡易書留郵便料金分(詳細は結果通知書をご覧ください。)の切手を貼ってください。

エ 既得免状(現在所持している消防設備士免状)

※ 既得免状を紛失(亡失)した方は「再交付」の手続きを、また、本籍、氏名等の変更が必要な方は、書換えの手続きが必要です。詳細はお問い合わせください。この手続きが完了しないと、新規の免状が交付できません。

(2) 合格発表後の免状の交付(第1回目)は、合格発表から概ね3週間後を予定しています。それ以降は、申請受理後概ね1か月です。ただし、諸事情により前後することがあります。

17. 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター(以下「当センター」という。)は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及び他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

(1) 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

(2) 当センターは、利用目的達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器などの安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

18. 問合せ先（土日、祝日、12月29日～1月3日を除く。）

(1) 受験に関すること

(一財)消防試験研究センター徳島県支部

電 話:088-652-1199

ファクシミリ:088-652-1282

(2) 電子申請に関すること

電子申請(インターネットからの受験申請)については、当センターのホームページに利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認の上お申込みください。

(一財)消防試験研究センターホームページ

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

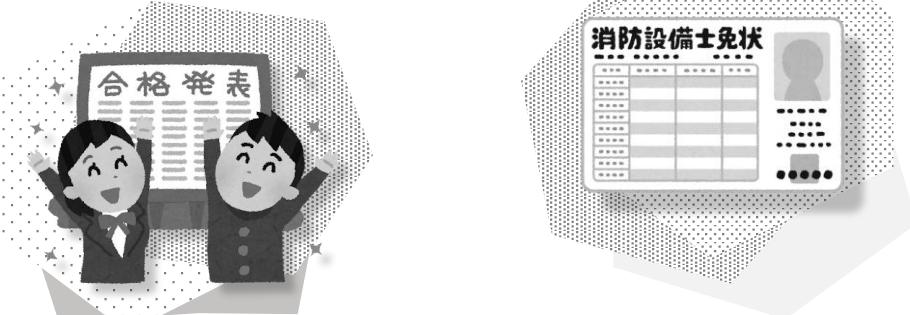
電子申請に関するトラブルなどの問合せは下記までお願いします。

(一財)消防試験研究センター電子申請室

専用電話:0570-07-1000 (有料)

※ 一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の案内は、一切行っておりません。

合格後は免状の交付申請をお忘れなく



別記1

甲種消防設備士試験の受験資格

※ 証明書類については、原本又はコピーしたものを添付してください。

※ 氏名が変わっている場合は、戸籍抄本等を添付してください。(新旧のわかるもの。コピー可。)

特類

対象者	内容	願書資格欄の記入略称	証明書類
右欄の「甲種消防設備士免状」の交付を受けている者	甲種第1類～第3類のうちいずれか一つ以上の類の免状取得者であって、かつ甲種第4類及び甲種第5類の両類の免状取得者	甲 特	免 状

特類以外

対象者	内容	願書資格欄の記入略称	証明書類
1 「甲種消防設備士免状」の交付を受けている者	科目免除あり。 (受験する類と既得免状の類により異なります)	甲 種	免 状
2 学校教育法による大学、高等専門学校(5年制)、高等学校又は中等教育学校において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する学科又は課程を修めて「卒業した者」 (当該学科又は課程を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。) ※ 指定学科授業科目については、(一財)消防試験研究センターまでお問い合わせください。	(1) 別表1「指定学科一覧表」に示す学科を卒業した者 (2) 大学、短大、高等専門学校において左記に掲げた学科に関する科目を15単位以上修得して卒業した者(当該科目を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)(別表2「授業科目一覧表」により算定) (3) 高等学校又は中等教育学校で、左記に掲げた学科に関する科目を8単位以上修得して卒業した者 (別表2「授業科目一覧表」により算定)	大卒、短大卒 高専卒、専門職了 高校卒、中等教育卒 大学等卒15単位 高校等卒8単位	卒業証書 又は 卒業証明書 单位修得証明書 卒業証書 又は 卒業証明書 及び 単位修得証明書
3 「乙種消防設備士免状」の交付を受けた後2年以上、工事整備対象設備等の整備の経験を有する者	消防設備士でなければ行えない工事整備対象設備等の整備の経験を有する者 (法第17条の5の規定に基づく政令に定めるものに限る。)	整備経験2年	免 状 及び 実務経験証明書
4 学校教育法等による大学、高等専門学校又は専修学校に「在学中又は中途退学した者等」で、機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を15単位以上修得した者 ※ 指定学科授業科目については、(一財)消防試験研究センターまでお問い合わせください。	(1) 大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校(5年制)、大学院又は専門職大学院において、左記に掲げた学科に関する授業科目(別表2「授業科目一覧表」)を15単位以上修得した者 (2) 学校教育法第124条に定める専修学校(「専門学校」)において左記に掲げた学科に関する授業科目を15単位以上修得した者 ただし、単位制度のない専修学校にあっては、講義については15時間、演習については30時間、実験、実習及び実技については45時間の授業をそれぞれ1単位として15単位以上修得した者	大学等卒15単位 専修学校	単位修得証明書 単位修得証明書
5 学校教育法による「各種学校その他消防庁長官が定める学校」において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を、講義については15時間、演習については30時間、実験、実習及び実技については45時間の授業をもってそれぞれ1単位として15単位以上修得した者	(1) 学校教育法第134条第1項に定める各種学校 (2) 学校教育法による大学及び高等専門学校の専攻科 (3) 防衛省設置法による防衛大学校及び防衛医科大学校 (4) 職業能力開発促進法による職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校及び職業能力開発短期大学校 (5) 職業能力開発促進法及び雇用促進事業団法の一部を改正する法律(平成9年)による改正前の職業能力開発促進法による職業能力開発大学校及び職業能力開発短期大学校	各種学校 大学、短大、高専の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校 職業能力開発総合大学校等 職業能力開発大学校等	単位修得証明書

5 学校教育法による「各種学校その他消防庁長官が定める学校」において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を、講義については15時間、演習については30時間、実験、実習及び実技については45時間の授業をもってそれぞれ1単位として15単位以上修した者	(6) 職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年)による改正前の職業能力開発促進法による職業訓練大学校及び職業訓練短期大学校	職業訓練大学校等	単位修得証明書
	(7) 職業訓練法の一部を改正する法律(昭和60年)による改正前の職業訓練法による職業訓練大学校及び職業訓練短期大学校	前職業訓練大学校等	
	(8) 職業能力開発促進法附則第2条による廃止前の職業訓練法(昭和33年)による職業訓練大学校	旧職業訓練大学校	
	(9) 雇用対策法(昭和41年)附則第7条による改正前の職業訓練法による中央職業訓練所	中央職業訓練所	
	(10) 独立行政法人水産大学校(平成13年4月1日前の農林水産省組織令による水産大学校(旧農林水産省組織令による水産大学校及び昭和59年7月1日前の農林水産省設置法による水産大学校を含む。))	水産大学校	
	(11) 國土交通省組織令による海上保安大学校(旧運輸省組織令による海上保安大学校及び昭和59年前の海上保安庁法による海上保安大学校を含む。)	海上保安大学校	
	(12) 國土交通省組織令による気象大学校(旧運輸省組織令による気象大学校及び昭和59年前の運輸省設置法による気象大学校を含む。)	気象大学校	
6 技術士法第4条第1項による「技術士」第2次試験に合格した者	科目免除は、類により免除を受けられる技術士の部門が指定されています。(指定された部門以外は科目免除はありません。)	技術士(○○)部門	合格証書 又は 技術士登録証
7 電気工事士法第2条第4項に規定する「電気工事士」(特種電気工事資格者を除く。)	(1) 電気工事士免状の交付を受けている者	電気工事士	免 状
	(2) 電気工事士法施行規則による旧電気工事技術者検定合格証明書の所持者		検定合格証明書
8 電気事業法第44条第1項に規定する第1種～第3種の「電気主任技術者免状」の交付を受けている者	(1) 電気主任技術者免状の交付を受けている者	電気主任技術者	免 状
	(2) 電気事業法附則第7項の規定により電気主任技術者免状の交付を受けているとみなされる者(認定された学校を卒業した者に対して卒業と同時に資格を付与された制度)		認 定 校 の 卒業証明書等
9 「工事整備対象設備等の工事の補助者」として、5年以上の実務経験を有する者	受験しようとする消防設備士試験の類(指定区分)に係る消防用設備等の工事の補助の経験が必要です。(消火器具、動力消防ポンプ、非常警報器具、誘導標識等の設置を除く。)	工事補助5年	実務経験証明書
10 その他前2から9までに掲げる者に準ずるものとして消防庁長官が定めた者	(1) 次に掲げる学校において、機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する学科又は課程を修めて卒業した者 学科名は、別表1「指定学科一覧表」による。 これに該当しない場合は、別表2「授業科目一覧表」に示す科目を15単位以上修得した者 ア　外国に所在する学校で、日本における大学、短期大学、高等専門学校(5年制)又は高等学校に相当するもの イ　旧師範教育令による高等師範学校 ウ　旧実業学校教員養成所規程による教員養成所	大学等卒	卒業証書 又は 卒業証明書 及び 単位修得証明書

10 その他前2から9までに掲げる者に準ずるものとして消防庁長官が定めた者	(2) 学校教育法第104条に基づき、大学又は学位授与機関により授与された、理学、工学、農学又は薬学のいずれかに相当する専攻分野の名称を付記された「修士又は博士」の学位を有する者 (外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。)	博(修)士	学位授与証明書、学位記、修了証書又は修了証明書 ※学位を取得していることがわかるもので、専攻分野の名称が付記されたもの
	(3) 専門学校卒業程度検定試験規程による専門学校卒業程度検定試験の機械、電気、工業化學、土木又は建築の部門に関する合格者	専検合格者	検定試験合格証明書
	(4) 建設業法第27条の規定による管工事施工管理の種目に係わる1級又は2級の技術検定に合格した者	管工事技士	技術検定合格証明書
	(5) 教育職員免許法により、高等学校の「工業」の教科について普通免許状を有する者(旧教員免許令を含む。)	教員免許状	免許状
	(6) 電波法第41条の規定により無線従事者の資格の免許を受けている者(アマチュア無線技士を除く。)	無線従事者	免許証
	(7) 建築士法第2条に規定する1級建築士又は2級建築士	建築士	免許証 又は 一級もしくは 二級建築士 免許証明書
	(8) 職業能力開発促進法第44条(旧職業訓練法第66条)の規定による配管の職種に係わる1級又は2級の試験に合格した者	配管技能士	技能検定合格証書
	(9) ガス事業法第26条の規定によるガス主任技術者免状の交付を受けている者(第4類の消防設備士の受験に限る。)	ガス主任技術者	免状
	(10) 水道法第25条の5の規定による給水装置工事主任技術者免状の交付を受けている者(旧法の資格者を含む。)	給水技術者	免状 又は 登録証
	(11) 消防行政に係る事務のうち、消防用設備等に関する事務について3年以上の実務経験を有する者	消防行政3年	実務経験証明書
	(12) 消防法施行規則の一部を改正する省令の施行前(昭和41年)において、消防用設備等の工事について3年以上の実務経験を有する者	省令前3年	実務経験証明書
	(13) 昭和41年 前の東京都火災予防条例による旧制度の消防設備士	条例設備士	免状

[備考]

- 「4」の大学(大学院の課程を含む。)、高等専門学校等における修得単位は、卒業、在学中、中退又は専攻科、通信教育等にかかわりなく通算して算定することができます。放送大学も通算して算定できます。(大学等で発行する「単位修得証明書」(22ページの書式例を参照)による。)
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 「3」、「9」及び「10-(11)、(12)」の「実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面裏の様式を使用してください。
- 旧制大学、旧制専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所の卒業者及び旧制専門学校卒業程度検定試験合格者も同様の資格があります。詳細はお問い合わせください。

別表1

指定学科一覧表(例示)

次の「学科」を修めて卒業した者は、「卒業証明書」又は「卒業証書」の提出で受験できます。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、 旧制の専門学校の卒業者用	高等学校、中等教育学校、 旧制の中等学校の卒業者用
ア	安全工学科	
エ	衛生工学科 エネルギー工学科 エネルギー機械工学科	
オ	応用化学科 応用機械工学科 応用精密化学科 応用電子工学科 応用反応化学科 応用理化学科	
カ	開発学科 開発工学科 開発土木工学科 海洋建築工学科 海洋土木開発工学科 海洋土木工学科 環境化学科 環境計画工学科 環境建築工学科 環境工学科 環境整備工学科 化学環境工学科 化学機械学科 化学機械工学科 化学工学科 化学工業科 画像応用工学科 画像工学科	開発機械科 化学科 化学工学科 化学工業科 環境工学科 環境土木科
キ	機械科 機械工学科 機械材料工学科 機械システム工学科 機械システム工学課程 機械理学科 機関科 器械工学科 基礎工学科 機能機械学科 機能高分子学科 金属学科 金属工学科	機械科 機械技術科 機械工学科 機械工作科 機械システム科 機械製図科 機械電気科 機械電子科 機関科 金属工業科
ケ	計測工学科 建築基礎工学科 建設工学科 建設学科 建築学科 建築工学科 建築工芸学科 建築設備学科 原動機科 原動機械科	計測科 計測工業科 建設科 建設技術科 建設工学科 建設工業科 建設システム科 建築科 建築土木科 原動機科 原動機械科
コ	工業化学科 高分子化学科 高分子工学科 高分子材料工学科 交通機械工学科 交通工学科 光電機械工学科 光電工学科 構造工学科 構築工学科 合成化学科 合成化学工学科	工業科 工業化学科 工業管理科 工業技術科 工業計測科 高分子工学科 航空車両整備科
サ	産業機械工学科 材料工学科	材料技術科 材料システム科 産業技術科
シ	資源開発工学科 資源循環化学科 資源循環工学科 社会開発工学科 情報処理工学科 情報通信工学科 情報電子工学科 情報工学科	色染化学科 自動車科 自動制御科 情報技術科 情報システム科 情報電子科 情報通信科
ス	水工土木工学科	水産工学科
セ	制御機械工学科 制御工学科 制御情報工学科 生産機械工学科 生産工学科 生産精密工学科 精密機械工学科 精密工学科 石油化学科 設備工学科 繊維科学工学科 繊維機械学科 繊維工学科 繊維工業化学科 繊維高分子工学科 繊維システム工学科 船舶機関工学科	制御機械科 生産機械科 生産システム科 精密機械科 設備科 設備工業科 設備システム科 セラミック科 繊維工学科 繊維システム科
ソ	造船学科	総合技術科 造船科
チ		地質工学科
ツ	通信工学科 通信材料工学科	通信工業科 通信工学科
テ	鉄鋼冶金学科 電気系 電気化学科 電気学科 電気機械工学科 電気工学科 電気情報工学科 電気通信学科 電気電子工学科 電気電子システム工学科 電機工学科 電子機械工学科 電子器械工学課程 電子工学科 電子材料工学科 電子情報学科 電子情報工学科 電子制御工学科 電子通信学科 電子通信工学科 電子電気工学科 電子物性工学科 電子理学科 電波通信学科	電気科 電気化学科 電気技術科 電気工事科 電気情報科 電気通信科 電気電子科 電子科 電子機械科 電子技術科 電子工学科 電子工業科 電子情報科 電子制御科 電子電気科 電波科
ト	都市工学科 土木建設工学科 土木工学科 動力機械工学科	都市工学科 土木科 土木建築科
ネ	燃料化学科 燃料工学科	
ノ	農業機械学科 農業土木工学科	農業機械科 農業工学科 農業土木科
ハ	船用機械工学科 船用機関科 反応化学科	
フ	物質科学工学科 物質工学科	
ム		無線通信科
ヤ		冶金科
ユ	有機材料工学科	
ヨ	溶接工学科	窯業科

《注1》 「工学科」「学科」「技術」「科」等の文字の有無により学科名の異なるものは、同学科名として取扱うものとします。

《注2》 上記の指定学科には、組み合わせたものも含みます。

(例) 機械工学—交通機械 農業機械 機械システム 機械制御 機械材料等

《注3》 上記の名称を含む学科であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

別表2

授業科目一覧表(例示)

次の名称の授業科目は、原則として「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野と認められる授業科目」として扱います。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、 旧制の専門学校の卒業者用	高等学校、中等教育学校、 旧制の中等学校の卒業者用
ア	アナログ電子回路 圧縮性流水 圧縮性流体力学 油空圧工学	
イ	移動工学 *一般構造(土木系・建築系のみ)	インテリア装備 意匠製図
ウ	運輸施設工学	
エ	エネルギー管理 エネルギー機械 エネルギー工学 エネルギー交換 エネルギー交換機器 エネルギー材料力学 エネルギーシステム工学 エネルギー制御 エネルギー制御工学 エネルギー伝送工学 エネルギー発生工学 エネルギー変換 エネルギー変換機器 エンジン流体力学 衛生工学 衛生設備 衛生設備設計	衛生・防災設備 衛生設備
オ	オプトエレクトロニクス 応用化学 音響学 音響工学 音響情報工学	応用力学 織物機械
カ	ガスターイン 化学エレクトロニクス 化学工学 化学工学設計製図 化学工学物性 化学工学熱力学 化学材料 化学工業プロセス 化学工程設計 化学製図 化学装置機械設計 化学装置製図 化学装置設計 化学装置設計製図 化学熱力学 化学プラント設計 化学プロセス工学 化学装置材料学 火災工学 火力及び水力原動機 火力発電所 加工機械学 加工の原理 加工冶金学 河海工学 河川工学 河川防災工学 架橋力学 画像応用工学 画像工学 画像電子工学 画像電子素子材料 回路応答論 回路網理論 回路理論 過渡現象論 海岸海洋工学 海岸工学 海岸水理学 海岸防災工学 海洋環境工学 海洋建築 海洋建築設計製図 海洋建築設備 海洋コンクリート構造 海洋工学製図 海洋構造工学 海洋構造設計 海洋構造力学 海洋構造物設計 海洋構造物設備 海洋水理学 海洋施工法 海洋測量学 海洋測量工学 海洋波動力学 海洋鋼構造 開発機械学 開発機械工作法 開発機械構造工学 開発機械設計法 開発機械設計製図 完全流体力学 *環境(土木系・建築系のみ) 環境衛生学 環境衛生工学 環境化学 環境解析 環境計画 環境計測 環境建築設計 環境建築設計製図 環境工学 環境水工学 環境設計 環境設備 環境装置工学 環境調整設備 環境反応化学 環境防災 岩石学 岩石力学 岩盤計測 岩盤工学 岩盤力学	化学工学 化学工学実習 化学工業安全 化学工業一般 化学工業計測 化学工業試験 化学工業特論 化学工場 化学システム技術 化学装置 化学反応 課題研究(研究テーマが機械、電気、工業化学、土木、建築に関するものに限る。) 環境技術 環境工学 環境工学実習 環境工学製図 環境施設 環境保全
キ	CAD/CAM 気体電子工学 気体力学 *基礎工学(土木系・建築系のみ) *基礎構造(土木系・建築系のみ) 機械運動学 機械学 機械技術 機械計測 機械計測学 機械工学 機械工作学 機械工作法 機械構造計画 機械構造力学 機械材料学 機械システム工学 機械システム設計 機械システム設計製図 機械振動学 機械製作 機械製作法 機械製図 機械製造学 機械設計 機械設計法 機械組織工学 機械要素 機械力学 機器制御 機械制御 機器分析 機器分析化学 機構運動学 機構及び要素 機構学 機素動力学 機電変換工学 機能金属材料 機能材料 機能性高分子 機能性材料化学 機能分子熱力学 強度設計学 給排水設備 橋梁工学 橋梁工学設計製図 橋梁設計製図 擬固加工学 金属強度学 金属凝固学 金属材料学 金属組織学 金属塑性加工学 金属铸造学 金属電気化学 金属特殊精鍊工学 金属熱力学	機械一般 機械応用力学 機械基礎 機械工作 機械材料 機械実習 機械製作 機械製図 機械設計 機械設計工作 機械・電気 機関乗船実習 金属加工 金属工業実習 金属工業製図 金属工業設計 金属材料 金属製錬 金属組織 漁船機関
ク	空気機械 空気調整工学 空気調和 空気調和設備 空気力学 空港工学 空中線工学 空調設備 空調設備設計 掘削機械学	空気調和設備
ケ	系統工学 計算流体力学 計測 計測学 計測機器システム 計測工学 計測システム工学 計測制御 計測電子回路 硅酸塩工業化学 結晶塑性学 建設機械 建設機械施工法 建設材料 建造システム工学 建築一般構造 建築一般材料 建築環境学 建築環境工学 建築基礎構造 建築計画 建築構造解析 建築構造概論 建築構造学 建築構造計画 建築構造設計 建築構造法及び材料 建築構造力学 建築材料 建築材料学 建築システム 建築振動学 建築施工学 建築施工法 建築生産施工 建築設計 建築設計製図 建築設備 建築設備計画 建築設備工学 建築設備材料 建築設備施工 建築設備設計 建築設備設計製図 建築測量 建築耐震構造 建築電気設備 建築防災 建築防災工学 建築力学 原動機学 原動機学製図 原動機関 原動機工学 原動機要素 現代制御論 現代無機工業化学	計測回路 計測管理 計測工事 計測・制御 計測力学 建築一般 建築計画 建築構造 建築構造計算 建築構造設計 建築構造力学 建築工法 建築材料 建築実習 建築製図 建築設計 建築設計製図 建築測量 建築施行 建築設備 建設機械 原動機 原子工学一般

コ	コンクリート工学 コンクリート工学設計製図 コンクリート構造学 コンクリート構造工学 コンクリート構造設計 固体電子工学 固体電子デバイス 固体電子デバイス工学 固体熱力学 固体力学 工業化学 工業化学計算法 工業化学コロキウム 工業高分子 工業生化学 工業触媒化学 工業生物化学 工業電気化学 工業分析化学 工業物理化学 工業無機化学 工業地質学 工業電子計測 工業計測 工業分析 工業熱力学 工業反応速度 工業材料学 工作機械 工作実習 工作通論 交通機械工学 交通機械設計製図 交通原動機 交通工学 交通土木工学 光学 光電機械機構学 光電機械工学 光電機械製図 光電機械設計製図 光電工学 光電要素 光波エレクトロニクス 航空学製図 航空機強度 航空機原動機 航空機構造 航空機構造強度 航空機構造力学 航空機振動フランジャー 航空機製図 航空機制御 航空機設計 航空機設計製図 航空機装備 航空機の強度と剛性 航空機力学 航空機流体力学 航空工学 航空工学製図 航空材料 航空原動機構造及び設計 航空材料学 航空設計法 航空流体力学 高温化学 高周波計測 高周波工学 高電圧工学 高電圧放電工学 交流理論 高度加工技術 高分子化学 高分子工業化学 高分子合成 高分子材料化学 高分子材料強度学 高分子材料工学 高分子触媒化学 高分子石油化学 高分子反応論 高分子物性 高分子物性化学 高分子物性工学 高分子物理化学 港湾工学 *構造(建築系のみ) 構造解析学 構造解析法 構造学 構造計画 構造工学 構造材料及び実験 構造振動論 構造設計 構造設計学 構造設計製図 構造設計法 構造動力学 構造物振動学 構造有機化学 構造力学 構築材料学 合成化学 (鋼構造 鋼構造工学 鋼構造設計 鋼構造設計学) (ハの項目と同じ)	工業一般 工業物理化学 工業数理 工業分析 工業化学 工業化学実習 工業管理実習 工業基礎 工業計測 工業計測技術 工業計測実習 工業計測製図 工業材料 工芸材料力学 鉱山機械
サ	作業システム工学 砂防工学 *材料(建築系のみ) 材料学 材料強弱 材料強弱及び機械工作実験 材料強度学 材料強度物性 材料工学 材料試験及び応力測定法 材料力学 材料施工学 材料組織学 材料破壊工学 材料物性 材料分析化学 錯体触媒化学 産業機械	材料加工 材料技術基礎 材料製造技術 材料施工
シ	システム工学 システム制御 ジェットエンジン ジェット機関 ジェット機関理論 資源システム工学 資源熱工学 地震工学 地盤及び基礎構造 地盤基礎工学 地盤計画 地盤工学 地盤力学 自動化機器学 自動化設計 自動車工学 自動生産システム 自動制御 自動制御工学 自動設計 磁気工学 磁性材料 磁性体工学 実験計測法 写真測量 車輌工学 集積回路工学 潤滑工学(トライボロジー) 商船艤装 商船設計 焼結工学 消火設備 消防設備 照明システム 照明工学 触媒化学 触媒反応化学 上下水道工学 情報工学 情報通信機 情報通信機器 情報通信工学 情報伝送 情報電送学 情報電送工学 蒸気エネルギー変換 蒸気タービン 信号処理論 振動 振動学 振動工学	色染化学一般 色染化学 色染化学実習 実習(機械、電気、工業化学、土木、建築又は設備に関するもの) 自動車一般 自動車工学 自動車工作 自動車構造 自動車試験 自動車実習 自動車製図 自動車設計 自動車整備 自動車電気 自動制御 情報技術 情報技術実習 食品化学 食品製造機器
ス	スイッチング回路理論 水工学 水工学設計製図 水工設計 水産土木工学 水質工学 水質水理学 水道工学 水利施設工学 水理学 水理実験 水力及び空気機械学 水力学 水力機械 水力発電所 水路工学 数値制御システム工学 数値熱流体力学	水工 水産工学 水産情報技術 水産製造機器 水産土木 水道 水理 水利 水理・土質
セ	セラミック化学 センサ工学 施工法 生合成化学 *生産(建築系のみ) 生産加工学 生産工学 生産システム工学 生産システム設計 生産自動化 生産電気機器学 生産の技術 生体高分子 生物化学 生物化学工学 生物有機化学 制御機器 制御計算機 制御工学 制御工学装置 制御システム 制御システム工学 制御理論 精密加工学 精密加工機械 精密加工法 精密工作 製造化学 石炭化学 石炭工学 石油化学 石油精製工学 切削加工学 切削工学 接合工学 設計工学 設計製図 設備設計製図 設備計画 設備工学 設備工作 設備材料 設備施工 設備設計 船体強弱学 船体強度 船体構造工学 船体振動 船舶海洋工学 船舶艤装学 船舶工学 船舶工学製図 船舶構造 船舶設計計画 船舶設計製図 船舶溶接工学 線形回路 線形制御系解析 線形制御系設計 線形電子回路 繊維化学 繊維機械学 繊維高分子機械 繊維高分子工学	製図(機械、電気、工業化学、土木、建築又は設備に関するもの) 生産実習 製造機器 設備・管理 設備機械電気 設備計画 設備工業実習 設備施工 設備設計製図 セメント セラミック化学 セラミック技術 セラミック工業 セラミック材料 染色 染色機器 染色技術 染色工場 染色理論 染色薬品 染料 船舶応用力学 船舶ぎ装 船舶計算 船舶工作 船舶構造 船舶構造・装置 船舶製図 船舶設計

ソ	塑性加工 塑性加工学 塑性工学 塑性力学 塑性論 送電 送配電機器 送配電工学 造船製図 装置工学 装置材料学 測定工学 測量 測量学 測量実習	造船工学 造船工作 造船実習 造船製図 造船設計 造船力学 測量
タ	ダム工学 耐震工学 耐震構造工学 耐震構造論 耐震耐風工学 耐震耐風構造学 耐風構造論 単位操作 炭化水素化学 弹性学 弹性力学 弹塑性学 弹塑性工学 弹塑性力学 暖房設備	
チ	地質学 鋸造学 鋸造工学 鋸造冶金学 超音波工学 超電導工学 超伝導工学 直流機器	地下資源開発 地質工学 地質工学実習 地質工学製図
ツ	通信運用学 通信概論 通信機器 通信技術 通信系統工学 通信工学 通信材料 通信システム 通信測定法 通信方式 通信網工学 通信理論	通信機器 通信工学 通信技術 通路 土・土質
テ	データー通信 デジタル回路 デジタル回路学 デジタル情報回路 デジタル信号処理 デジタル制御理論 鉄筋コンクリート工学 鉄筋コンクリート構造 鉄鋼材料学 鉄鋼製鍊(精鍊) 鉄骨工学 鉄骨構造 鉄道工学 鉄冶金学 天然物合成化学 天然物有機化学 天然有機工業化学 伝送回路 伝送工学 伝熱学 伝熱工学 電気エネルギー変換工学 電気応用 電気応用工学 電気音響 電気音響工学 電気音響振動 電気化学 電気回路基礎 電気回路理論 電気基礎学 電気機械工学 電気機器 電気機器学 電気機器工学 電気機器制御 電気機器設計 電気機器設計製図 電気製図 電気設備 電気設備設計 電気計測 電気計測工学 電気工学 電気工事 電気材料 電気電子材料 電気磁気学 電気磁気回路 電気磁気測定法 電気制御 電気理論 電気物性 電気物性工学 電気鉄道 電気変換機器 電気法規 電気冶金学 電気電子システム工学 電機変換工学 電子応用機器 電子応用計測 電子画像工学 電子回路 電子工学 電子回路工学 電子管工学 電子機械工学 電子機械制御 電子機器学 電子機器工学 電子計測 電子材料 電子材料工学 電子情報工学 電子制御工学 電子制御理論 電子素子工学 電子装置 電子通信機器 電子通信測定法 電気通信工学 電子デバイス 電子デバイス工学 電子デバイスプロセス 電子物性 電子物性工学 電子物理学 電子物理計測 電子部品 電子要素 電磁界解析 電磁界理論 電磁気学 電磁回路 電磁波 電磁波工学 電磁理論 電磁流体工学 電磁力応用工学 電磁波伝送 電動力応用電鉄 電熱工学 電波工学 電波光波工学 電力応用 電力回路 電力系統 電力系統工学 電力工学 電力発生工学 電力変換工学	電気一般 電気応用 電気化学 電気機器 電気基礎 電気技術 電気計測 電気工学 電気工事 電気材料 電気実習 電気製図 電気理論 電気通信理論 電子応用 電子回路 電子機械 電子機械応用 電子機器 電子実習 電子基礎 電子技術 電子計測 電子計測制御 電子現象 電子工学 電子製図 電子情報技術 電力応用 電力設備
ト	トラクタ実習 都市環境 都市環境工学 都市工学 都市設計 都市設備学 土質基礎工学 土質工学 土質材料学 土質動力学 土質力学 土木応用力学 土木解析 土木環境工学 土木基礎設計 土木機械学 土木工学 土木計画学 土木建設工学 土木建築工学製図 土木建築製図法 土木材料 土木材料学 土木材料施工法 土木施工法 土木力学 土木振動学 土木地質学 土木製図 土木設計学 土木設計製図 動力学 動力工学 道路及び橋梁工学 道路工学 道路交通工学 導電材料 特殊加工学 特殊鋼学 特殊材料学	特殊材料 土質 土質力学 土木一般 土木応用力学 土木実習 土木製図 土木施工 土木設計 都市工学 都市工学施工 都市工学設計
ナ	内燃機関 流学 軟弱地盤工学	
ニ	荷役機械	
ネ	熱工学 热エネルギー工学 热エネルギー変換工学 热機械学 热機関 熱流体エネルギー工学 热流体システム工学 热流体力学 热力学 粘性 粘性流体力学 燃烧化学 燃烧工学 燃烧・热工学 燃料合成化学 燃料分析化学	
ノ	能動回路 農業機械学 農業機械工学 農業機械設計及び製図 農業機械設計法 農業構造学 農業土木 農業土木工学 農業土木機械学 農業動力学 農業揚水機 農用トラック工学 農用内燃機関学 農用揚水機学	農業機械 農業水利 農業土木施工 農業土木設計
ハ	パルス回路 パルスデジタル回路 波動振動 破壊力学 配電 配電工学 発電所 鋼構造 鋼構造工学 鋼構造設計 鋼構造設計学 船用機関 船用機器 発電工学 発電用機器 発電工学 発電所工学 反応化学 反応解析 反応工学 反応システム 反応性高分子化学 反応装置工学 反応速度論 反応プロセス化学 反応有機化学 半導体 半導体工学 半導体材料 半導体材料工学 半導体素子工学 半導体デバイス 半導体物性学	発送配電 ハードウェア技術 舶用機関 舶用電気 舶用電機

ヒ	ピーエスコンクリート工学 非圧縮性流体工学 非金属材料 非金属材料学 非線形電子回路 非鉄金属精鍊 非鉄材料 非鉄冶金学 光エレクトロニクス 光工学 光情報工学 光通信工学 光伝送工学	
フ	ファインケミカル工業化学 プラズマ工学 プラズマ電子工学 プラント工学 プレストレストコンクリート工学 プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御 プロセス設計製図 プロセス有機化学 浮体静水力学 物質強度学 物理有機化学 分離精鍊工学	船用機関 船用電気 船用電機
ヘ	平面及び曲面構造論 変電所	
ホ	ボイラー ボイラー工学 放電現象論 放電工学 防災安全計画 防災工学 防災水工学 防災設備	放射化学 ボイラー
マ	マイクロデバイス マイクロ波工学	
ミ	水資源工学	
ム	無機化学 無機工業化学 無機工業材料 無機構造化学 無機合成 無機合成化学 無機材料化学 無機製造化学 無機反応化学 無機分析化学 無線 無線機器学	無線機器 無線工学 無線測定 無機工業化学
メ	メカトロニクス	
モ		木工機械
ヤ	冶金学 冶金工学 冶金設備設計製図 冶金熱工学 冶金反応工学 冶金物理化学	や(冶)金一般 や(冶)金実習
ユ	油圧工学 油空圧工学 輸送機械 誘電材料 誘電体工学 誘導体素子工学 有機化学 有機化合物の構造と物性 有機機能材料 有機金属化学 有機工業化学 有機高分子材料 有機構造 有機構造解析 有機合成化学 有機合成学 有機材料 有機材料化学 有機材料加工力学 有機材料工学 有機材料合成化学 有機製造化学 有機反応 有機プロセス化学 有機量子化学 有線機器学	有機工業化学
ヨ	溶接及び加工 溶接学 溶接機器 溶接工学 溶接構造強度学 溶接設計 溶接設計施工学 溶接冶金学	溶接 窯業 窯業技術 窯業計測 窯業原料 窯業実習 窯業製図 窯業操作 窯業特論 窯炉・燃料
リ	利水工学 理論有機化学 流水学 流体エネルギー工学 流体エネルギー弹性学 流体エネルギー変換 流体回路 流体機械 流体機器工学 流体工学 流体静水力学 流体物理学 流体力学 流体理論 量子エレクトロニクス 量子化学 量子電子工学	林業土木 林業機械
レ	連続体力学 冷凍工学	冷蔵・冷凍
ロ	ロボット工学 ロボティクス 論理回路	炉・燃料

《注1》 「工学」、「学」、「技術」等の文字の有無により科目名の異なるものは、同科目名として取扱うものとします。

《注2》 上記の授業科目には、一部の関連科目も含みます。(認められない科目もあります。)

《注3》 上記の名称を含む授業科目であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

《注4》 詳細はお問い合わせください。

受験願書の記入要領



- ・ 受験願書は、本人が記入してください。
- ・ A面及びB面があり複写式となっておりますので、2枚重ねてていねいに記入してください。
- ・ 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- ・ 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
- ・ 年月日を記入する欄では、1桁の数字の場合、必ず0(ゼロ)を前に付けてください。
- ・ 都道府県コードは、B面裏のコード表をご確認ください。

A面

①	都道府県名欄には「徳島県」(受験をする都道府県名)と記入してください。
②	申請日を記入してください。
③	左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④	左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤	該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の者は、「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥	郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。 また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。 2段目はアラビア数字とハイフンで記入してください。
⑦	電話番号の局番等の間は1マス使用して「ー」でつなげてください。
⑧	勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で連絡の取りやすい電話番号を記入してください。
⑨	試験日を記入してください。
⑩	試験種類を記入してください。
⑪	受験地を「徳島」と記入してください。
⑫	甲種の受験者は、別記1「甲種消防設備士試験の受験資格」の願書資格欄の記入略称のうち、該当するものを記入するとともに、受験資格の証明書類を受験願書B面裏の各種証明書貼付欄に必ずのり付けしてください。 過去の受験票等を使用する場合も、受験資格の略称は必ず記載してください。

- ⑬ 試験の一部免除の資格のある方は、資格の種類ごとに免除を「受ける」か「受けない」に必ず○を付けてください。
 「受ける」に○を付けた場合は、免除のための証明書類(下表参照。)を受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。
 ただし、過去、いずれかの支部で試験の一部免除を受けた方は、その時の受験票若しくは受験票(控)又は資格判定コード欄に番号が印字されている試験結果通知書で証明することができます。
 試験の一部免除の資格者は、申請時に現に免状を有する方に限ります。
免除を受けるための証明書類に不備がある場合は免除を受けられません。
 (受付締切後の免除資格の変更はできません。)

試験の一部免除を受けるための資格証明書類

該 当 者	証明書類(コピー可)
消防設備士免状を有する方	消防設備士免状
電気工事士免状を有する方	電気工事士免状
電気主任技術者免状を有する方	電気主任技術者免状
技術士登録証等を有する方	技術士第2次試験若しくは本試験の合格証明書又は技術士登録証
日本消防検定協会又は指定検定機関の職員で、型式承認の試験の実施業務に2年以上従事した方	型式承認試験の実施業務の従事証明書
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち専科教育の機関科を修了した方	消防団員歴の証明書及び消防学校の教育(機関科)修了証の

- ⑭ 今回の受付期間内に2種類以上の試験を受ける方は、この願書以外に受験する試験の種類を記入してください。
- ⑮ 書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。(携帯電話アドレス可。)
 なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定(ドメイン名shoubo-shiken.or.jp)を行ってください。
- ⑯ 3か月以内に①の徳島県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、試験日を記入してください。
- ⑰ 現在の職業で、該当する箇所に○を付けてください。
- ⑱ 既に消防設備士免状の交付を受けている方は「有」、ない方は「無」に○を付けてください。
- ⑲ 消防設備士免状の交付を既に受けている方は、該当する種類の元号コード(昭和:3・平成:4・令和:5)、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。なお、科目免除や受験資格にかかわらず、免状のコピー(表面と裏面)を受験願書B面の裏にのり付してください。
- ⑳ 免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。

B面

<◎払込用紙で払込みの場合>

所定の払込用紙を使って、試験手数料(6ページ参照。)を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。(金額の訂正は無効。)

郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印を確認し、「振替払込受付証明書(お客様用)」を全面のり付けしてください。

注:本人用の「振替払込請求書兼受領書」では受付できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書(お客様用)」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。

<◎2次元コード経由で払込みの場合>

決済完了メールに記載されている決済完了番号(18桁)を記入してください。

B面裏

「実務経験」の受験資格で甲種を受験する方は、会社等の証明が必要です。

「事業所等の印」及び「証明者の印」の押印を忘れずに受けてください。

他の証明書様式を使っても、証明内容が充足していれば支障ありません。

他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。

既に消防設備士免状を所有している方は、科目免除等の有無に関わらず、免状のコピーをB面裏に貼付してください。

単位修得証明書 書式例

単位修得証明書

年 月 日 入学 部 科
年 月 日 修了

氏名
年 月 日 生

○○に関する授業科目名	習得単位数 又は時間	○○に関する授業科目名	習得単位数 又は時間
	計		

上記のとおり証明する

年 月 日

学校の所在地 _____

学校の名称 _____

証明者(学校の代表者氏名・役職名) _____ 印

※ 証明書の書式は例の内容が記載されれば自由です。

※ 学長等が「○○に関する科目」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

※ 「○○」とは、機械、電気、工業化学、土木または建築が該当します。

消防設備士試験受験願書記入例

- ◎ 受験願書 A面の(記入上の注意)をよく読んで、記入例にしたがって記入してください。
書き損じた場合は、横2本線を引いてそのすぐ上に正しく書いてください。
- ◎ 受験願書は A面 B面の2枚複写式です。重ねて記入してください。

12 消防設備士試験受験願書(全国共通)												
設		① ②										
		一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名				徳島県		申請日	令和	××	××	月
<p>③ 申 請 者 ④ 氏 名 ⑤ 生 年 月 日 ⑥ 郵便 番号 ⑦ 住 所</p> <p>⑨ 試 験 日 ⑩ 試 験 種 類 ⑪ 受 験 地 ⑫ 甲 種 受 験 資 格 ⑬ 試験の免除 で く だ さ い ⑭ 同時に複数の試験を受ける者は、この 願書以外に受ける種類を記入すること</p> <p>⑯ 免状取得の有無について記入してください</p> <p>⑯ 免状番号</p> <p>⑯ 免状番号</p>	シヨウホウウ				タロウ		太郎				フリガナ・氏名は氏と名に分けて、左づめで記入してください	
	消防				徳島		都道府県	本籍	36			
	770 - ×××				必ず記入してください		自宅電話番号 又は携帯電話番号		088-6××-×××			
	徳島県〇〇市〇〇町〇〇字〇〇 1-15				丁目・番地・号についてお問い合わせ用語		勤務先名又は学校名		〇〇工業(株)			
	〇〇〇マンション△△△号室						連絡先電話番号(携帯電話も可)		0885-00-0000			
	内線()											
	令和 〇× 年 ×× 月 ×× 日				※1 メールアドレス(任意)		@					
	① 甲 乙 種 第 1 類				※2 他の都道府県での受験申請状況		都道府県コード		試験種類		試験日	
	徳島				※3 受験地		① 甲		② 乙		③ 第 1 類	
	特類				※4 資格		① 甲		② 乙		③ 第 2 類	
工事補助5年				※5 免除		① 甲		② 乙		③ 第 3 類		
技術士等の資格による試験の免除を(受けれる)(受けない) 電気工事士免状による試験の免除を(受けれる)(受けない) 電気主任技術者免状による試験の免除を(受けれる)(受けない) 消防設備士免状による試験の免除を(受けれる)(受けない) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、専科教育の機関科を終了したことによる試験の免除を(受けれる)(受けない)				※6 複数		① 学生		② 消防設備業		③ ビル管理業		
				※7 併願		④ 電気工事業		⑤ 管工事業		⑥ ビル整備業		
						⑦ 公務員		⑧ 建築業		⑨ その他		
1 有 0 無				※8 入力番号		交付知事		コード		(記入上の注意)		
元号コード (昭和3 平成4 令和5)				免状交付年月日		交付番号						
<p>⑯ 免状番号は全部記入してください</p>	甲特		年	月	日							
	甲1		年	月	日							
	甲2		年	月	日							
	甲3		年	月	日							
	甲4		年	月	日							
	甲5		年	月	日							
	乙1		年	月	日							
	乙2		年	月	日							
	乙3		年	月	日							
	乙4		年	月	日							
乙5		年	月	日								
乙6		年	月	日								
乙7		5 03	01	10	50000		徳島		36			
※ 団体コード			※ 受付機関コード			※ 分類コード			※ []			
試験センター発行 (A面)												

20~22ページの要領に沿って記入してください。

● ● ● ● ●
● 本用紙は、黒色のボールペンを使用しないで記入してください
● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
● 桁は該当するものに○を記入してください
● 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です
●

B面裏

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	32	愛媛	38	大分	44
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	33	高知	39	宮崎	45
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	34	福岡	40	鹿児島	46
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	35	佐賀	41	沖縄	47
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	36	長崎	42	外国籍	99

消防用設備等実務経験証明書

氏名	消防 太郎	×年 ×月 ×日生
経験内容	1 整備経験 (2) 工事補助経験 3 その他()	
実務経験期間	×年 ×月 ×日から	×年 ×月 ×日まで (5年 3月)
消防用設備等の種類	スプリンクラー設備	
上記のとおり相違ないことを証明します。 証明年月日 ×年 ×月 ×日		
事業所名	○○工業(株)	事業所 等の印
証明者	役職 ××××	証明者 の私印
	氏名 ××××	
	電話 0885 - 00 - 0000	

甲種消防設備士試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第17条の8第4項第1号、第2号及び第3号）。

「整備経験2年」の方は、取得した乙種免状の種類に基づく「実務経験期間」及び「消防用設備等の種類」を記入してください。

「工事補助5年」の方は、受験しようとする消防設備士試験の類（指定区分）に係る「実務経験期間」及び「消防用設備等の種類」を記入してください。（消火器具、動力消防ポンプ、非常警報器具、誘導標識等の設置を除く。）

※2ページ 5. 免状の種類と工事整備対象設備等の表参照

既得消防設備士免状（コピー）貼付欄

既に消防設備士免状の交付を受けている方は、必ず免状コピーを貼付してください。

裏

表

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

(B面裏)

消防設備士試験

よく読んで、間違えないように申請するですだち



徳島県マスコット「すだちくん」
承認番号:県民第24-92号

書面申請による願書受付場所及び受付時間
(受験願書は受験する支部に提出してください)

受付場所	〒770-0943 徳島市中昭和町1-3 山一興業ビル4階 (一財)消防試験研究センター徳島県支部	
受付時間	9:00~12:15 (土日、祝日、12月29日~1月3日を除く) 13:00~17:00	
電話番号	088-652-1199	FAX番号 088-652-1282

※受験願書到着確認には対応できません

(封筒表に「願書在中」と朱書きしてください)

点線に沿って切り取り、宛名ラベルとしてご利用ください。



受付期間より前に届いた受験願書や、受付期間を過ぎた消印のものは受け取れません。

キリトリ線 ----- >

770-0943
徳島市中昭和町1丁目3番地 山一興業ビル4階
(一財)消防試験研究センター
徳島県支部 行

願書在中

書面申請受付締切日の消印有効

----- < キリトリ線 -----

消防設備士